

平成 25 年 11 月 25 日

報道機関各位

一般財団法人とうほう地域総合研究所
理事長 阿部 隆彦

「家計調査からみた福島市の世帯における消費行動」について ～福島市の「納豆」「もも」「ラーメン」の消費額は日本一～

総務省では毎年家計調査を実施し、県庁所在地・政令指定都市の家庭における家計消費額について毎年 3 月に公表しています。同調査をみることで、意外な福島市の購入・消費額を知ることができます。家計調査からわかる福島市の世帯における食品類の購入金額（平成 22 年～24 年の年平均）が全国上位・下位の項目について公表されたものを取りまとめ、機関誌「福島の進路 12 月号」（11 月 27 日発行）に掲載します。ご参考までにご紹介します。

家計調査とは

- ・ 2 人以上の世帯を対象とした「1 世帯あたり品目別都道府県庁所在地及び政令指定都市ランキング（平成 22～24 年平均）」公表される（ただし、東京都は東京都区部と表記されている東京 23 区が対象）。
- ・ 国民生活における家計収支の実態を把握。国の経済政策・社会政策の立案のための基礎資料となる。
- ・ 調査対象の市町村は全国から選定されており、本県では福島市、郡山市、田村市が対象となっているが、調査結果が公表されるのは、都道府県庁所在地と政令指定都市についてのみである。
- ・ なお、本稿での順位は、都道府県庁所在地のみとした。

1. 購入額全国上位の品目

～福島市：全国一の「納豆」「もも」「ラーメン（外食）」～

① 納豆

1 世帯あたりの納豆購入額は全国第 1 位ですが、凍豆腐などが含まれる「その他大豆製品」の購入額も第 4 位と上位にあります。大豆製品を積極的に摂取するなどして、食生活における健康志向の強さが現われているものと考えられます（図表 1）。

図表1 納豆

| 順位 | 都市名 | 1世帯あたり購入額（円） | 全国平均を100とした指数 |
|----|------|--------------|---------------|
| 1 | 福島市 | 5,528 | 167 |
| 2 | 盛岡市 | 5,266 | 159 |
| 3 | 水戸市 | 5,183 | 156 |
| 45 | 徳島市 | 1,940 | 59 |
| 46 | 和歌山市 | 1,811 | 55 |
| 47 | 大阪市 | 1,793 | 54 |
| | 全国平均 | 3,313 | 100 |

② もも

福島市を代表する果物「もも」の購入金額は他の主要産地である岡山市と甲府市を圧倒しています（図表2）。その反面、デザート系の果物や野菜は「すいか」が最下位であるのをはじめ「メロン」などの順位が低くなっています。

図表2 もも

| 順位 | 都市名 | 1世帯あたり 購入額（円） | 全国平均を100 とした指数 |
|------|-----|------------------|-------------------|
| 1 | 福島市 | 6,153 | 511 |
| 2 | 岡山市 | 3,642 | 302 |
| 3 | 甲府市 | 3,126 | 260 |
| 45 | 宮崎市 | 540 | 45 |
| 46 | 佐賀市 | 527 | 44 |
| 47 | 那覇市 | 301 | 25 |
| 全国平均 | | 1,204 | 100 |

③ ラーメン（外食）

福島市のラーメンの外食消費額は全国第1位です。しかし、中華麺購入額は中位になっており、ラーメン店の充実によって、「外食するならラーメン」という福島市民が多いものと読み取れます。一方、山形市は中華麺・カップ麺の購入額も全国上位であり、家でも外でもラーメン好きな市民であると思われます（図表3）。

図表3 ラーメン（外食）

| 順位 | 都市名 | 1世帯あたり 購入額（円） | 全国平均を100 とした指数 |
|------|------|------------------|-------------------|
| 1 | 福島市 | 11,345 | 206 |
| 2 | 山形市 | 11,077 | 201 |
| 3 | 宇都宮市 | 9,739 | 177 |
| 45 | 松山市 | 3,410 | 62 |
| 46 | 和歌山市 | 3,000 | 54 |
| 47 | 大阪市 | 2,861 | 52 |
| 全国平均 | | 5,517 | 100 |

④ かつお

圧倒的に金額が大きい高知市に次いで全国第2位となっています。本県では「かつお」の漁獲量が多く、新鮮な「かつお」を刺身等で食べる家庭が多いものと思われます。酒類の消費額が多い高知市が全国首位であるように、酒の肴として人気があると考えられます（図表4）。

図表4 かつお

| 順位 | 都市名 | 1世帯あたり 購入額（円） | 全国平均を100 とした指数 |
|------|-----|------------------|-------------------|
| 1 | 高知市 | 9,588 | 644 |
| 2 | 福島市 | 3,841 | 258 |
| 3 | 水戸市 | 3,654 | 246 |
| 45 | 福岡市 | 657 | 44 |
| 46 | 金沢市 | 643 | 43 |
| 47 | 大分市 | 641 | 43 |
| 全国平均 | | 1,488 | 100 |

2. 購入額全国下位の品目

～福島市：消費量が少ない「牛肉」や「食パン」～

① 牛肉

牛肉購入額は第46位と下から2番目です。首位の和歌山市の約4分の1であり、上位には京都市や奈良市など関西地方の府県が上位を占めています。「肉といえば牛肉」という関西の食文化との違いが顕著に現われています（図表5）。

図表5 牛肉

| 順位 | 都市名 | 1世帯あたり 購入額（円） | 全国平均を100 とした指数 |
|------|------|------------------|-------------------|
| 1 | 和歌山市 | 35,253 | 190 |
| 2 | 京都市 | 32,893 | 177 |
| 3 | 奈良市 | 32,705 | 176 |
| 45 | 長野市 | 8,201 | 44 |
| 46 | 福島市 | 7,945 | 43 |
| 47 | 新潟市 | 7,360 | 40 |
| 全国平均 | | 18,590 | 100 |

②食パン

パンの購入額は少なく、特に「食パン」は順位が下から3番目です。その分「米」の購入額の順位が高い訳でもなく、「スパゲティ」などを含めた穀類の購入額自体が少ないようです（図表6）。

図表6 食パン

| 順位 | 都市名 | 1世帯あたり購入額（円） | 全国平均を100とした指数 |
|----|------|--------------|---------------|
| 1 | 神戸市 | 12,349 | 144 |
| 2 | 京都市 | 11,376 | 133 |
| 3 | 奈良市 | 11,037 | 129 |
| 45 | 福島市 | 6,337 | 74 |
| 46 | 鹿児島市 | 6,135 | 72 |
| 47 | 秋田市 | 5,971 | 70 |
| | 全国平均 | 8,577 | 100 |

③すいか

夏の風物詩となっている「すいか」ですが、猛暑となる福島市は意外にも全国最下位です。同じ果物の「もも」とは時期的にあまり重なっておらず、明確な理由は不明です（図表7）。福島市の「アイスクリーム・シャーベット」購入額が全国第5位と上位にあり、暑い日には「すいか」より「アイス」を好むのかもしれませんが。

図表7 すいか

| 順位 | 都市名 | 1世帯あたり購入額（円） | 全国平均を100とした指数 |
|----|------|--------------|---------------|
| 1 | 新潟市 | 2,160 | 157 |
| 2 | 千葉市 | 1,823 | 132 |
| 3 | 熊本市 | 1,786 | 130 |
| 45 | 那覇市 | 958 | 70 |
| 46 | 甲府市 | 912 | 66 |
| 47 | 福島市 | 848 | 62 |
| | 全国平均 | 1,378 | 100 |

④ケチャップ

スパゲティ購入額が第46位と少ないこともあり、「ケチャップ」は最下位となっています。食品に味付けする油脂類は、「ソース」が第46位、「風味調味料」（かつおだし等）が最下位となっています。福島市民は調味料を必要以上に使用しないことなのかもしれません（図表8）。

図表8 ケチャップ

| 順位 | 都市名 | 1世帯あたり購入額（円） | 全国平均を100とした指数 |
|----|------|--------------|---------------|
| 1 | 横浜市 | 688 | 119 |
| 2 | 名古屋市 | 673 | 117 |
| 3 | 福井市 | 658 | 114 |
| 45 | 富山市 | 498 | 86 |
| 46 | 宮崎市 | 492 | 85 |
| 47 | 福島市 | 472 | 82 |
| | 全国平均 | 576 | 100 |

3. まとめ

福島市の「もも」が全国第1位であるように、全国各地の名産品については、カステラが長崎市、かまぼこが仙台市、たらこが福岡市など圧倒的大差で首位となっています。「もも」は地元の産物として福島市民に親しまれていることがうかがわれます。

福島市にラーメンの街という印象は強くないと思われがちですが、「ラーメン（外食）」の全国第1位は、福島市に関する新たな発見であるかもしれません。

「納豆」については、“福島市＝納豆”の街というイメージをもっとPRしていくためにも、今年10月に福島商工会議所青年部が開催した「納豆フェスティバル」を更に盛り上げて継続していけば、地域振興などにつなげていけるのではないのでしょうか。

このように福島市民の消費額の多い品目については、市民および対外向けにもっとPRすることで、更なる消費拡大と地域振興につながっていくことが期待されます。

本件に関する質問・お問い合わせ先

担当：高橋、木村 TEL：024-523-3171

※なお、照会のお電話につきましては午後5時までにお問い合わせいたします。